

勝負の秋 その2

次から次へと勝負の秋です。9月14日から16日までは、福島県高等学校教員採用試験の2次試験でした。教員の生涯獲得給与等は、今3億円を上回ります。いわば3億円をかけた勝負でもあるのです。

7月の19日から始まった受験の本番モードはすでに2か月を過ぎました。今後は、模擬試験の時期に差し掛かります。何週間か続く模擬試験に狙いを定めて、学習の成果を確かめ、また、まだ足りていないところを早急に埋めていく作業が必要となります。

二次試験対策を進める時期でもあります。センター試験の受験申し込みを手堅く早く進め、各大学の赤本と青本の問題を解いていくことで、2次力を高めていきましょう。2次力を高めることは、センター試験の得点能力を高めることにもつながり、私大対策を高めることにもなるのです。

残りの6か月を計画通り進めていきましょう。ともすれば、同じリズムで単調な学習になるところですが、全体のバランスを大切にしながら、きちんと長中期的目標と短期の目標を組み合わせながら、メリハリの利いた毎日にしてください。

昨年度の反省から申しますと、模擬試験の結果で一喜一憂しないことです。点数が思うようでないことで自信を失ったり、その自信のなさを取り返そうと新しい参考書に手を付けて見たり、負のスパイラルに入ってしまった元も子もありません。模擬試験で大学に合格するものではありません。本番の試験で合格ラインをいかに上回るかによって合格かそうでないかが決定していくのです。

周囲と連携し、自分の足りないところをいかに埋めていくかに細心の注意を払いながら、情報量と質を高めていきましょう。

わかり始めたと感ずる瞬間瞬間の積み重ねが肝要なのです。はじめは偶然かもしれませんが、偶然が3度重なれば必然になります。必然が3度重なれば実力になります。実力で戦うことの楽しみが見えた時が、本番であることを祈ります。実力が付けば必ず大学は合格します。そうするとあっという間に卒業です。

その一日一日を確実にこなしていく集中力と忍耐力と継続する志によって、未来への扉はこじ開けられていくのです。自分だけがつらいのではなく、受験生全員が試されているのです。一人の戦いとせず、チームとして結束することで、力が湧いていくのです。

今こそ、結集していきましょう。そのための磐城高校であるのだから。

